柏スポ

平成２０年４月吉日
柏スポ第１３号

某小学校
柏スポ編集委員会
責任者：謎のＫ

平成１９年度個人成績発表

川久保首位打者・打点王 ２冠達成

打撃部門逃すも…盗塁王には稲嶌

本塁打王・山下

個人成績一覧 栄光は誰の手に？

氏名	打率	本塁打	打点	犠打	三振	死四球	盗塁
稲嶌	.404	1	13	3	1	5	5
植村	.304	1	11	1	3	4	0
川久保	.444	1	21	2	3	11	2
下地頭所	.370	0	6	4	6	15	1
高木	.366	1	7	2	1	1	1
高浪	.300	1	6	1	7	6	4
橋本	.267	1	10	1	2	3	3
藤本	.375	0	4	2	0	3	0
前川	.276	0	5	0	3	5	1
八木	.250	0	4	6	1	14	0
山下	.432	3	14	1	0	7	0
山根	.367	0	8	0	1	0	0
武澤※	.250	0	0	0	1	1	0
チーム全体	.360	10	119	26	31	81	17

　本年度のタイトルホルダーが決定した。といっても、打撃部門だけですが。投手成績はスコアにしてないので表彰できない。個人打撃成績は左表の通り。過去３年間はカルロス・ヤマシタ・きゃーくぼの３人で三冠部門を独占していたが、本年度はどうだったのか？と聞かれても表を見ればわかる。見てね。なお、チーム全体は助っ人成績を含んでいます。

　本塁打王はヤマシタが獲得。参加試合数は少ない中での獲得は立派。首位打者・打点王にきゃーくぼという結果になった。タイトル常連のカルロスは今回盗塁王のみであった。※は規定打数以下

卒業（引退）試合結果速報

　今年度卒業するシモジさん、フジモト、カルロスの３名を送別する試合が３月３０日（日）十八条グランドに宿敵アルチマックスとの対戦で行われた。このアルチマックスというチームは、寿印刷の関係者が集まって結成されたチームで、新年度新監督となった社長（植村印刷）とはライバル関係にあり、負けることは許されないのであった。

　序盤ヤマネの立ち上がりを捉えられ大量失点を食らってしまい、小刻みに点を返すも流れは戻らず、１４対６の大敗を喫してしまった。３名の卒業試合であったが、また今年度監督の橋本の最終試合であったが、勝利を飾ることができなかった。

　最終戦ヤマシタ欠席のため、打点争いをしていたきゃーくぼのトップが確定したうえ、第１打席の２塁打で何とか３打数１安打を確保、打率が下がったものの首位をキープ。首位打者も獲得。欠席ヤマシタは本塁打トップであったが、２本差で並ぶ多数の選手が本塁打狙いしたため、雑なバッティングに終わったのかは疑問の残るところである。３打数無安打に終わったカルロスであったが、ゲッツー崩れでランナーに残った際、すかさず盗塁を決め単独での盗塁王を獲得した。シモジさんしぶとく２四球を選び、酒店を抜き四死球王獲得。犠打王は犠牲フライの差で酒店に奪取された。三振王はタカナミだ。

居酒屋「鷹」にて送別会

花束と記念品が三名にされ、盛大に送別会が行われた

１９年度チーム成績　１０勝１１敗３分

ブロック大会
野里小8-7柏里小
香蓑小5-6柏里小
歌島中11-3柏里小
柏里小13-2野里小
柏里小7-7歌島中
柏里小8-9歌島小

区Ｐ大会
柏里小13-10大和田小
柏里小4-14野里小

区民大会
ウイナーズ0-3柏小
柏里小4-14野里小

練習試合
柏小10-6アルチマックス
田川小5-7柏里小
柏里小2-14田川小
ナックルズ11-4柏里小
柏里小4-15ナックルズ
アルチマックス3-3柏小
柏小1-1アルチマックス
東山本C8-11柏里小
柏里小16-5東山本C
柏小2-5ワイルドダックス
ワイルドダックス3-9柏小
オール大和田1-6柏里小
柏里小7-8オール大和田
アルチマックス14-6柏小

ブロック大会（4/6位）
2勝3敗1分け
区P大会（２回戦敗退）
1勝1敗
区民大会（２回戦敗退）
1勝1敗
練習試合
6勝6敗2分